

吉野町行政サービスの変革・新庁舎整備検討審議会 答申式 会議録

I.開催日時 令和6年8月2日10時00分～10時50分

II.開催場所 吉野町中央公民館 5階閲覧室

III.出席者（敬称略）

①委員

1番	金野幸雄	2番	杉中泰則	3番	中川幾郎	4番	東健二郎
5番	皆地良祐	6番	北岡信夫	7番	山本春洋	8番	西浦正明
9番	内仲勝弘	11番	辻 秀昭	12番	澤木久美子	13番	平野湊太郎
14番	上田聡志	15番	大谷 唯				

※4番 東健二郎、15番 大谷 唯は、Zoomにて出席

※欠席：10番 坂西保夫、16番 中西由佳

②吉野町

町長 中井章太、副町長 和田圭史、教育長 土居正明、参事 小原壮平
《事務局》

課長 戸毛祥博、課長補佐 中 武史、主任 峠 香織、主査 村上祐介

③会議録作成（株式会社福本設計）

田杼 悟、南 匠充

IV.次第

1.開会

2.答申書提出

3.委員長挨拶・町長謝辞

4.その他

5.閉会

V. 会議録

0. 開会前 事務連絡	
事務局 (村上)	<p>皆様、おはようございます。</p> <p>定刻まで数分ございますが、答申式に入ります前に、事務局より1点ご案内します。これまでの審議会同様、答申式の会議録作成の為、本日のご発言につきましては、録音をさせていただきますので、あらかじめご了承をよろしくお願いいたします。それでは、定刻までしばらくお待ちください。</p>
1. 開会	
事務局 (村上)	<p>定刻となりましたので始めさせていただきます。</p> <p>ただ今より「吉野町行政サービスの変革・新庁舎整備検討審議会 答申式」を開催させていただきます。</p> <p>本日、皆様方にはご多忙のところ、ご出席いただき誠にありがとうございます。総務課村上です。よろしくお願いいたします。</p> <p>委員の皆様におかれましては、昨年11月の第1回から審議会にご参加いただきまして、全8回に渡り、熱心かつ慎重なご審議を重ねていただきましたこと、事務局より深く感謝申し上げます。</p> <p>早速ではございますが、まず初めに中川委員長から中井町長へ吉野町新庁舎整備等基本構想案の策定について、答申書を提出していただきます。</p> <p>その後、中川委員長と中井町長からご挨拶をいただきたいと思っております。</p> <p>それでは、中川委員長、ならびに中井町長、前方中央にお越しくください。</p>
2. 答申書提出	
事務局 (村上)	<p>それでは中川委員長、よろしくお願いいたします。</p>
中川委員長	<p>答申、申し上げます。</p> <p>「吉野町新庁舎整備等基本構想案の策定について（答申）」</p> <p>令和5年11月30日付け吉総第222号で諮問のありました吉野町新庁舎整備等基本構想案の策定について、審議を重ねた結果、下記の意見を添えて答申いたします。</p> <p>1. 本審議会は吉野町行政サービスの変革・新庁舎整備検討審議会設置要綱に基づき、令和5年11月に吉野町長から吉野町新庁舎整備等基本構想の策定について諮問を受け、令和5年11月30日以降、計8回の審議を進めて参りました。</p> <p>2. 吉野町においては、行政サービスの変革を図ることにより、住民サービスの向上と行政事務の効率化を目指すとともに、新庁舎整備により、安心・安全な</p>

	<p>庁舎機能を備える必要があります。これらは、大幅な人口減少が予想される吉野町における一大事業であることを勘案し、新庁舎整備における基本理念、役割と機能、設置場所などについて、町民代表委員の意見や学識経験者の見解、事務局から提供された資料等を踏まえて、慎重に審議しました。</p> <p>その審議内容の成果を「吉野町新庁舎整備等基本構想案」としてまとめましたので、別添のとおり提出いたします。</p> <p>今後、行政サービスの変革と新庁舎の整備を進めるにあたっては、本審議会の意見が十分に反映されるよう本答申を尊重していただきますとともに、より多角的な検討を進め、最善の努力をされるよう要望いたします。」</p> <p>基本構想案は、ここに付いています。よろしく願います。</p>
中井町長	ありがとうございます。(拍手)
事務局 (村上)	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、写真撮影に入りますので、中川委員長と中井町長、お二人で答申書をお持ちいただけますでしょうか。</p> <p>(記念写真撮影)</p> <p>ありがとうございます。それでは、中川委員長、中井町長、前方の席におかけいただけますでしょうか。</p>
3. 委員長挨拶・町長謝辞	
事務局 (村上)	<p>それでは、中川委員長から本審議会の総括を含め、答申書及び基本構想案の概要説明および、ご挨拶をいただきたいと思います。</p> <p>中川委員長、よろしく願います。</p>
中川委員長	<p>皆様、本日お集まりいただきまして、大変ご苦労さまとともに、ありがとうございます。振り返りますと、昨年11月に第1回を開催して以来、真剣に議論してきた、と感無量です。と申しますのも、新庁舎のあり方だけでなく、これから吉野町にある様々な資源をどのように生かすかということと、それを取り巻く町民の気持ちを非常に重要な要素として考える必要があったからです。</p> <p>つまり、一般的な都市部などによくある近代的な都市型のまちづくりの議論をするのではなく、もっと地に足を付け、気持ちが穏やかに納まる議論を進めたいと念願していました。皆様のご協力・ご尽力により、それが可能であったことが嬉しく、頭の下がる思いがしました。ありがとうございました。</p> <p>ここで、お手元に配布されていまして、ご覧いただくとよく分かると思いますが、「吉野町新庁舎整備等基本構想案」の性格を簡単に申し上げます。</p> <p>新庁舎整備に関しては、「単に古くなったので、新しく建て替えよう」という話だけではなく、どこに新庁舎が位置付くことにより、新庁舎周辺に今後どのようなインパクトを与えるのか、あるいは、災害に対してはどうしたらいいのか、さらには、今までの行政サービスのままでいいのか。いわゆるDX(デジタルトランスフォーメーション)という言葉がありますが、それらの技術がどのように今</p>

後の行政のサービス機能にインパクトを与えるのかも勘案し、やらなければならなかった、と私は思います。

そのような意味では、「私には関係ない」とおっしゃる方は1人もおらず、問題意識を共有することができ、大変嬉しかったですし、本審議会の方針を導き出す大きな原動力になったと思います。その中で、大きなポイントとして、皆様と議論を共有できた主題を申し上げます。

昨日来、線状降水帯の恐ろしさが皆様の頭によぎっているかと思います。

少し話が飛びますが、私は、山形県酒田市の文化政策を預かる審議会の会長も約6年務めており、御当地に友人が多く、「大丈夫ですか」と教育長や市長に電話をかけています。皆様、それぞれご健在ですが、「大沢地区がどんでもないことになっており、山も崩れ始めています。」という話を聞き、線状降水帯の威力は、今まで崩れたことがない山を崩したり、洪水が起こったことがない場所も水浸しにしたりすることを思い知りました。大沢地区は、山間部にも関わらず床上浸水が発生しており、水害の恐ろしさは、今までと比較になりません。

そのような意味で、特に皆様が気にされていたことは、災害対策として、「拠点機能がどのように維持されるのか」、あるいは「どのような拠点機能があるべきなのか」について、最初に議論が集中しました。それがあつ程度、皆様の脳裏をよぎりながらも、腹にすっと落ちてくることに並行して、次に「行政サービス機能がどのように変わっていくのか」、それに対して、「庁舎機能はどのようにあればいいのか」を議論していきました。非常時・平常時の話の双方を、行ったり来たりしながら議論したことで単純に新庁舎整備をどうするかを超えて、立体的な議論ができたと思います。

次に、造ること、あるいは移転するためには、どのくらいコストがかかるのかについて、議論しました。持続可能性と言われますが、何でも起債して、あとは起債を返還していきながらやればいいという考え方は、無責任ではないのかという意見やこれから先、私たちの子ども・孫世代の人口は減っていくにも関わらず、「大変な借金を残してくれた」と言われないようにする必要があつと考え、無駄がなく、できるだけお金が掛からない方法を考える議論に移りました。

併せて、災害対策を始め、行政・非日常行政サービス、持続可能性、コスト、ひいては全庁的に中心拠点でありながらも、目配りができる本庁機能を維持するためには、どのような考え方で、庁舎を整備すれば良いのかなどの議論も行い、多角的かつ立体的な議論ができたと思います。詳しい内容は、「吉野町新庁舎整備等基本構想案」に記述されていますので、議会議員・町民の皆様にご覧いただいた上で、もう一つ議論を深めてくだされば、ありがたいと思います。

審議会委員の皆様のご真摯で、誠実なご議論の成果だと思つます。

皆様のご協力・ご尽力に心から感謝申し上げ、私の報告とさせていただきます。ありがとうございました。

<p>事務局 (村上)</p>	<p>中川委員長、ありがとうございました。 続きまして、本審議会の答申を受けまして、中井町長より謝辞を述べさせていただきます。中井町長、よろしくお願いたします。</p>
<p>中井町長</p>	<p>改めまして、おはようございます。 本日は、お忙しいところ、新庁舎整備等基本構想案の策定の答申式に、ご参集いただき、心から感謝を申し上げます。そして、昨年 11 月に諮問をさせていただき、中川委員長を中心に各地区の区長代表の皆様、また学識経験者、公募委員の皆様、8 回に渡る、慎重かつ様々な視点・角度からご審議をいただきました。 部分最適ではなく、全体最適・まちづくりの視点からも新庁舎整備について、ご審議いただきましたこと、改めて感謝を申し上げます。 先ほど、中川委員長から本審議会で、様々な視点で議論されたことも報告いただきました。私も各回の審議内容を精査させていただきました。 思い起こしますと、令和 4 年 8 月下旬に新庁舎整備に関する選定の説明会を開いたのが、約 2 年前です。ご承知のとおり、現役場庁舎は、65 年が経ち、非常に危険な状態にある中でしたが、町民の皆様に対する説明としては、短い時間だったと思います。町民の皆様には、いろいろな意味で不安や問題を起こしたことを振り返りながら、本審議회를立ち上げ、約 2 年の中で答申を頂いたことに改めて感謝を申し上げます。 また、吉野町は昭和 31 年に 6 カ町村が合併しました。今年で 68 歳です。あと 2 年で 70 年を迎えます。そのような合併から約 70 年の月日が経ちますが、人口推移を見ますと、昭和 30 年頃は、1 万 9,800 人程の人口でした。その当時の吉野郡は、奈良県の人口が 70 万人に対し、11 万 2,000 人・約 14.4%の割合を占めていました。しかしながら、今、現在の吉野町の人口は 6,000 人を切る状況であり、吉野郡も約 3 万人となり、3 分の 1 以下まで人口減少しています。これは、吉野郡全体ではなく、過疎地域、特に中山間地域は、全国的に人口減少が加速しており、集落維持が難しくなっています。 その中で、今、中川委員長におっしゃっていただいたように災害が非常に高まってきています。全国に 1,741 自治体がありますが、令和 2 年に土砂崩れや災害がなかった自治体は 40 自治体くらいです。それだけ、毎年災害が多発する時代になっています。町民の命を守ることが最優先になりますが、従前から懸念されていた災害対策が、より顕著に表れ、命を守る災害対策本部としての機能を保つことが問われる時代となってきました。そんな中で新庁舎をどう位置付けるかが、今回答申で示されたかと思います。 しかし、災害時に限らず、先ほどの人口の減少を垣間見た時に吉野町がどのようなまちづくりをしていかなければいけないかが、一番本来の趣旨です。 私自身も町長就任後、コロナという大災害に遭いました。その中で、人口減少に対し、政策的な歯止めをかけていく。また、吉野町全体をどうしていくか。 国からコンパクトシティ等の言葉が出ていますが、東京首都機能から地方に移</p>

転した時に、コンパクトシティがどこまで、その集落・ふるさとを守れるのかを私も議員時代からずっと考えながら今に至ります。

先ほど話しましたが、吉野町だけを見るのではなく、吉野郡全体の人口3万人を見た時に、奈良県における吉野町が、どのような位置付けにあるかです。

鉄道が通る吉野町が吉野郡全体の衰退を止めていかないと、町自身がなくなってしまうという危機感の中で新庁舎に絡めて、近鉄沿線の大和上市、吉野神宮、そして吉野駅までの駅前周辺をどうしていくか。また、駅周辺の空き家整備などが、吉野町の今後のまちづくりの一つの起点になると思います。

また新庁舎の件で、土地利用の話も頂きました。これは今、三町都市計画で奈良県の土地利用という視点で、知事や担当部局と意見交換をさせていただいております。長年、市街化調整区域のため、家が建てられない・商業ができない等という課題が浮き彫りになっていましたが、解決できず、現在に至っています。

本審議会の答申は、このような過去に出来なかったことを少しでも前に進め、吉野町全体の6カ町村の中心地をどのように繋げていくのかが、今回の一番の大きなテーマになると思いますし、それを実現していくためのまちづくりの出発点であると考えています。

答申書に書かれていますように、多角的な視点からスピーディーに進めていただきたい。これは、65年経過した現役場庁舎で働く職員、そして町民の命を守るための整備を1日でも早く進めていかなければいけないと思いますので、多角的に、そしてスピーディーに進めて参りたいと考えています。

また、答申書に書かれている内容以外の委員の皆様のご意見を私も拝見しております。それらを実現するためには、町内の連携だけではなく、県や国との連携も含めながら財政的なランニング・イニシャルコストをできるだけ抑え、子どもや孫の世代に将来の負担を残さないこと、また今ある公共施設をフル活用して、未来につながる吉野町のまちづくりに取り組みたいと思います。

改めまして、8回に渡る、皆様の絶大なる審議に感謝申し上げるとともに、そのしっかりした審議を基に、私も町長として、また行政のトップとして、しっかりと進めていくことをお約束申し上げて、本日の答申に当たっての謝辞とさせていただきます。ありがとうございました。

事務局
(村上)

中井町長、ありがとうございました。

それでは、ここで審議会委員の皆様と中井町長で写真を撮らせていただければと思いますので、前方中央へお集まりください。

(記念写真撮影)

皆様、写真撮影にご協力いただきありがとうございました。

4. その他	
事務局 (村上)	<p>委員の皆様一人一人が吉野町の明るい未来を願い、将来を真剣に、ご審議いただいた成果が答申書と基本構想案に溢れているかと思えます。</p> <p>先ほど中井町長からもお話がありましたが、本審議会のご意見を尊重し、町として、皆様の熱い想いに応えられますよう最大限努力して参ります。</p> <p>皆様のこれまでのご貢献に対し、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。それでは、最後に中川委員長から一言よろしく願いいたします。</p>
中川委員長	<p>皆様のお力添えをいただき、これほど立派な結論が出たことに感銘を覚えています。一つ申し添えますと、私は吉野という町に非常に所縁(ゆかり)の深い人間の一人です。住んでいる場所は大阪ですが、私の母の叔父が、吉野熊野国立公園生みの父等と言われた岸田日出男と言ひ、大変立派な人だと聞いています。</p> <p>その出生が元々は高取藩 藩主でした。それから大淀へ移り、兄弟が育ったようです。今も六田駅に岸田日出男の父親に当たる岸田檜造の顕彰碑があり、母にそれを見に行け、とよく言われました。ですから、吉野に足を向けて寝るなどもよく言われ、林間学校は吉野山で過ごしましたので、私にとって吉野は心の中の宝物です。その町の未来に関わる審議に携われたことは、誇りに思いますし、嬉しいことでした。皆様、ありがとうございました。</p>
事務局 (村上)	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、委員の皆様からご感想をいただきます。</p> <p>皆地副委員長から順にお願いいたします。</p>
皆地副委員長	<p>8回ご苦労さまでした。</p> <p>我々の答申で、やっとスタートラインに立ったという状況で、今後、新庁舎が吉野町のシンボルとして、そして町の中心になるべく位置付けとしていかなければ、恥ずかしい状況になると思えます。後は、行政の方にお任せせざるを得ないわけですが、十分に検討されて、地元の方が「良い場所に来てくれた」、我々、近くにいた者が「良い場所に持っていった」、そして地元の方にとっては「よくぞ来てくれた」という感慨を持って初めて吉野町として、纏まると思えます。行政というものは難しいものだと思いますが、この機会に将来、吉野町がとんでもなく逆転したと言われ、マスコミも常に注目されるような町へ発展することを祈念します。ありがとうございました。</p>
金野委員	<p>長い議論でしたが、皆様と一緒に話し合えたことを、とても光栄に感じます。ありがとうございました。</p> <p>この基本構想案を基に素晴らしい庁舎機能が整備され、新しい未来が開けることを期待しています。また、庁舎周辺の村づくりや庁舎移転をインパクトにした上市地区の再生や各地域の村づくりも併せて、進展していただければ、とても嬉しく思います。必要であれば、私もお手伝いをさせていただければと思います。</p>

	<p>中井町長が言われたように、将来、吉野郡全体に対し、「あれは吉野町の新庁舎移転から始まった」というような吉野郡の活性化につながる契機になればと思います。ありがとうございました。</p>
杉中委員	<p>8回に渡り、皆様と議論ができ、ご意見を聞けましたことをありがたく思います。今回の答申は、吉野町発展のための一つのスタートだと思いますし、審議会の中で、お話がありました吉野のゲートウェイをどうしていくか、また旧吉野小学校跡地をどうしていくかに絡めたプロジェクトがスタートすると思いますが、このような皆様がいらっしゃる町ですので、円滑に進めていけると思います。</p> <p>私も吉野町にルーツがある人間として、応援させていただきます。</p>
澤木委員	<p>私は、まだ吉野町民になって約3年を過ぎたところですが、このような会に自ら手を挙げて、各地区代表の皆様と席を同じくさせていただけたことを、光栄に思います。引っ越してきた吉野町が少しでも良くなるためのお話を一緒にさせていただけたことは、私にとっても意味が大きく、これから小さなことでも自分にできることを行動していきたいと思います。今回の素案についての実現に向けても、少しでもお手伝いできたらと思いますので、今後もよろしくお願いします。</p>
平野委員	<p>私も15年前に東京から移転し、今回審議会に参加させていただくことができ、心から感謝しています。私にとっての吉野という地は、聖地です。その聖地とは、日本人の心の中に、誰もが吉野のようなイメージが日本の大切な歴史・文化を担っている場所であることと、それを世界に対しても、聖地として認められている場所だと認識しています。ですから、そのようなことが基礎にあるまちづくり、人の生活、歴史・文化等が整理整頓されていくと、世界中からこの場所に住んでくださるのではないかという予感がしています。ですから、私は、重点的に環境整備・美しい吉野のまちづくりを本審議会で申し上げてきました。</p> <p>ぜひ、そのような聖地としての吉野の姿をより日本・世界に情報発信していただけることを心から願っています。ありがとうございました。</p>
上田委員	<p>昨年11月に同じような話をしましたが、仕事上、北は北海道、南は九州まで飛び回ることが多いのですが、「上田さんは、どこの出身なの？」と話になりますが、「奈良の吉野町です」という話をしたら、「桜のきれいなところだね」、「私も行ったことがある」というような話をくださいます。関西圏ならまだしも、日本各地でそのようなお話をいただけることは、大変誇りであり、素晴らしいことなのかと思います。</p> <p>その吉野町の顔である新庁舎を再構築・移転のお話に関わり、まとめるに際して意見を出させてさせていただけたことは、私の一生の誇りだと思いながら参加させていただきました。益々良い吉野町になっていく中で、審議会に参加させていただきましたこと、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。</p>
辻委員	<p>答申書を拝見し、本当に素晴らしいものができたかと思います。これから温かみのある夢や希望の持てるような新庁舎を1日も早く整備いただきますようお願いいたします。</p>

	<p>前回の審議会を思い起こしていたのですが、私がなぜいろいろなことを言ったかを考えてみたら、まちづくりの基本は、町の人口構成です。これまで若い人口が減ると言っていました。20歳～39歳が2050年には五十数名になります。そう考えると、さくら学園は、26年後には複式学級になります。教育上、これは、極めて厳しい状況になります。</p> <p>労働人口も日本全体の労働人口の現象に比べて、はるかに速いスピードで吉野町の労働人口が減ると厚生労働省から報道されました。このような厳しい人口減少の中で、現在の社会の機能を維持する持続可能なまちづくりは不可能です。</p> <p>しかし、高速道路が整備できれば、持続可能だと考え、提案させていただきました。吉野町を通る高速道路が普通に要望できるレベルだと思います。吉野町の急激な人口減少の現状を考えたら、今が最初で最後のチャンスだと思います。</p> <p>私は、五條に12年間、それから奈良に10年間、1～2時間かけて、通勤しました。また、現在も西本願寺への参拝は、観光バスで途中休憩を入れて、3時間40分かけて行っています。道路整備は、長く不便を感じながら暮らしてきた私たち町民の願いだと思います。こうした交通アクセスの整備は、全国から吉野町へ人口流入を確実に増やすと思います。また、奈良県にとっても大きなメリットがあると思います。奈良盆地に次ぐ、奈良県の第2の経済圏である奈良県南部東部地域の振興に必ずつながりますし、日本の発展に繋がると確信しています。本答申書をそのような視点で見ると、その趣旨は十分に伝わっていると思います。</p> <p>そして、何よりも大事だと思うことは、この交通アクセスの整備とともに、他の地域に負けないまちづくりを吉野町に住む全員が一丸となって取り組むことだと思います。これからも一住民として、しっかり応援したいと思いますが、最後に申し上げたいことは、こうしたまちづくりは普通にできると思いますので、絶対に吉野町の発展を諦めないでいただきたい。それだけのブランド力があると思います。町役場の皆様、議会、町民の皆様、どうかよろしくお願いします。</p>
内仲委員	<p>長いようで、短かったかと思うほどの密な日を過ごさせていただきました。</p> <p>1週間程前ですが、旧吉野北小学校跡地前に孫を迎えに行く機会があり、しみじみと見ていました。ここに吉野町の中心として新庁舎ができるのだと思いながら、いろいろと考えを巡らせています。将来のことも徐々にですが、動きだしたと思います。町におかれましても、この提言書を大事にいただき、前に進むという気持ちを必ずお持ちいただき、皆様で後ろから応援できるような体制を整えていただきたいと思います。長い間ありがとうございました。</p>
西浦委員	<p>今までの審議会が行政や町民にとって意義のある審議であったと言えるように、これから進めてもらえたらと思います。また、今後人口の過疎化となるか分かりませんが、人口数にこだわらず、吉野に住んでいる人の心に裕福感・満足感が与えられる吉野町になればと思います。</p>
北岡委員	<p>昨年の11月から今日まで委員の皆様、ほぼ欠席なく、真面目に参加されたとと思います。今回の結論を見て、私が感じたことを述べさせていただきます。</p>

	<p>吉野町には残された時間はないと強く感じています。その一つに団塊世代が、今、吉野町の人口 6,500 人が、あと 10 年後には 5,000 人を切ってくるかと思えます。吉野町の団塊世代は、まだ元気に働き、稼いでいます。ですから、我々はあと 10 年しか命はないという覚悟をもって、吉野町をどうしていくかを考えていかなければいけない、と強く思いました。</p> <p>そのためには、全体でどうしていくかではなく、各地域で、それぞれ持ち分・特色を活かして、活性化していくという各地域の努力や活力が大事だと強く思えます。私の立場から、これからは上市地区をどうしていくかについて、強く認識して動いていきたいと考えています。</p>
山本委員	<p>新庁舎整備基本構想について、今日まで続けてきました。</p> <p>町民・行政の様々な想いがあると思えます。これと決めたら、皆様、一致団結して進めていける方法で、町民・行政が一致団結していかないと達成できないことがたくさんあると思えますが、皆様のご協力を期待して終わりの言葉とさせていただきます。</p>
事務局 (村上)	<p>加えて、オンラインでご参加いただいています東委員より、ご意見を頂戴できますでしょうか。</p>
東委員	<p>審議に参加させていただき、勉強になりました。皆様、大変お疲れ様でした。</p> <p>「行政サービスの変革」と名前にあるとおり、私も幾つかコメントさせていただきました。それは、構想案に書かれているとおり、非常にバランスの取れた、かつ本質的な議論でき、それが形になっているかと思えます。</p> <p>1 点だけ、改めて印象的であったことが、委員の皆様から、職員の職場環境、あるいは働き方、将来的な人材育成などについて、職員へのリスペクトを持って、一緒にこれからの役場をつくって行くことが各回の議事録の中にきちんと入っており、それが本答申等にも埋め込まれていると思えます。</p> <p>そうしたものがあって、初めて皆様からお話があった、これからのまちづくりのベースが整備される訳であり、構想案に町民と職員の総接触時間を増やす、それをもってこれからも吉野のまちづくりができていくのだということが、本質的な形で埋め込まれていますので、実現に向けて、私も何かしら引き続き、お手伝いしたいと思いますので、これからもよろしく願います。</p> <p>ありがとうございました。</p>
事務局 (戸毛課長)	<p>総務課長の戸毛でございます。事務局を代表しまして、一言だけご挨拶の礼を申し上げたいと思えます。</p> <p>まず、中川委員長をはじめ、各委員の皆様からご意見を頂き、本日を迎えられることに事務局として本当にありがたく思えます。ありがとうございます。</p> <p>我々担当職員としては、手探りの中で、昨年 11 月から本審議会を始め、特に中川委員長に無理なお願いをしながら、また他の委員にもできる限り意見を集約していただき頑張ってきたつもりですが、なかなか拙い所もあり、ご迷惑をおかけしたと思えます。よくよく考えますと、今、ここにいる役場職員も、このよう</p>

	<p>な機会を迎えることが一生に 1 回あるかないかの大きな事業に関わっていることを改めて感じました。</p> <p>この答申を基に、我々職員は、庁舎整備だけではなく、行政サービスのあり方やまちづくりを進めていく実務を担う職員として、我々と、今ある管理職ではなく、5 年、10 年、20 年先を見つめる職員が働きやすく、町民と一体となり、まちづくりしていけるように、これから取り組んでいきます。</p> <p>審議会は、本日で終わりますが、我々職員に様々なご意見・ご指導をいただくと大変幸いです。いろいろと拙い事務局ではありましたが、改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。</p>
中川委員長	ありがとうございました。
5. 閉会	
事務局 (村上)	<p>それでは、これをもちまして、「吉野町行政サービスの変革・新庁舎整備検討審議会 答申式」を閉式いたします。</p> <p>また、中井町長と中川委員長は、この後、取材対応のご協力をお願いできたらと思います。委員の皆様、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。</p>

以上